

市町村名		那覇市					
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【中期的検証事業】							
事業名	新文化芸術発信拠点施設整備事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-1-(4)-ウ 文化活動を支える基盤の形成		
担当部課名	市民文化部	文化振興課	事業実施 年度	平成 24	~ 令和 3	年度 沖縄振興基本方針 該当箇所	
事業内容	市民、県民が質の高い文化芸術公演に触れる機会や文化芸術活動を行う場の確保を図るため、新文化芸術発信拠点施設を建設する。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
事業期間中の 予算額・ 執行額 【単位:千円】		~H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	合計	
	実績報告上の総事業費(最終)	1,753,845	2,992,540	5,854,000	3,220,882	13,821,267	
	A. 予算現額	1,753,845	2,992,540	5,854,000	3,220,882	13,821,267	
	B. 執行済額	1,753,845	2,990,504	5,853,515	3,217,633	13,815,497	
	うち 交付金充当額	1,401,908	2,045,000	2,910,204	1,782,898	8,140,010	
	執行率(%) (B/A)	100.0%	99.9%	100.0%	99.9%	100.0%	
執行状況の説明	H30年度、R1年度は、地下埋設物撤去や台風襲来等で工事に遅れが生じ繰越となったが執行を行った。施設本体建設工事及び建設工事業務委託(監理)については、工期延長に伴い事業期間を令和3年度まで延長し、令和3年度で完了、同3年10月に供用開始した。						
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)	達成状況					
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
	新文化芸術発信拠点施設建設工事	目標	実施設計	建設工事 用地購入 物件補償	建設工事	建設工事	建設工事・ 供用開始
		実績	完了	実施	実施	実施	完了・ 供用開始
	管理運営	目標	実施計画	-	-	-	-
		実績	実施	-	-	-	-
	目標						
	実績						
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)	進捗状況					
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
	新文化芸術発信拠点施設建設工事の完了	目標	実施設計の 完了	工事着手 用地購入 物件補償	本体工事30%	本体工事 75%	工事完了
		実績	完了	実施	実施	実施	完了
		目標					
		実績					
	目標						
	実績						

事業完了後の取り組み

成果目標(指標)		達成/進捗状況					
		R3年度	R4年度	○年度	○年度	○年度 目標/発現年度	
事業完了後の成果目標	<input checked="" type="checkbox"/> 中期にわたる事業効果 <input type="checkbox"/> 後年度に発現する事業効果						
	年間利用者数	目標	10万人	20万人	—	—	—
		実績	4.7万人	17.3万人	—	—	—
		目標					
	実績						
状況説明	【R3年度】 ・施設への年間利用者数は約4.7万人となり目標を下回っている。 【R4年度】 ・施設への年間利用者数は約17.3万人となり目標を下回っている。						
【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)			【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)				
【R3年度】 ・施設の供用開始後、年間利用者数が当初目標を下回った要因としては、施設の認知度の低さ、新型コロナウイルスの流行等による来場者制限や市民の来場敬遠、予定していた催事の中止、施設利用申し込みが低調だったこと、観光客の減少などがあげられる。 【R4年度】 ・年度末に向けて新型コロナウイルスの影響は納まりつつあり年間利用者数は伸びたが、新型コロナウイルスの影響を少なからず受けていた状況があったため、年間利用者数が当初目標を下回る結果となった。			【R3年度】 ・施設の認知度向上や魅力の発信、文化芸術団体への施設利用促進の取組、市民や観光客への施設や催事の紹介に努める必要がある。 【R4年度】 ・昨年度に引き続き、施設の認知度向上や魅力の発信、文化芸術団体への施設利用促進の取組、市民や観光客への施設や催事の紹介に努める必要がある。				
今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)							
【R4年度】 ・今後は、年間利用者数の向上のため、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえながら、これまで利用したことのない文化芸術団体への施設利用促進のため施設下見を定期的に行い利用意欲を増進させる取組、安心して来場ができるように施設入り口や各劇場等の入り口に検温機や手指消毒用機器の設置徹底、来場者となる市民や観光客への施設や催事の更なる広報のため、ホームページや広報誌への掲載に取り組むこと、幅広い市民の来場を促す施設の自主事業や共催事業に取り組む。また、当施設のパンフレット等をHP上で公開し周知強化を図る。 【R5年度】 ・今後は、前年度に引き続き、施設下見を定期的に行い利用意欲を増進させる取組や、ホームページや広報誌等への広報の取組、幅広い市民の来場を促す施設の自主事業や共催事業への取組を継続しつつ、新型コロナウイルス感染症の5類移行を機に、これまでの施設利用制限を緩和するなど運用を見直し、利便性を向上することで更なる年間利用者数向上を促進する。							